

危001	項目名	防災ラジオ整備事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	
予算書項目	防災ラジオ整備事業費	ページ	27
年度	R2	所 属 名 危機管理部 危機管理課	
会計名	一般会計		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	諸費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	96,884		
総務部長段階査定額	96,884	その他財源の内訳	
市長段階査定額	96,884	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	96,884	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	96,884	
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】危機対策係 0857-30-8033 【10次総の施策体系】4101 【事業の経過及び背景】 本市では、緊急情報の発信手段として、主に防災行政無線を使用している。しかし、屋外拡声子局を主整備とする防災行政無線のデジタル化を推進するにつれ、環境音や住家の気密性に屋外拡声子局の音声は阻害されることを原因とした屋内情報伝達の需要が高まったため、新たな緊急情報の伝達手段を整備するもの。 【事業の目的及び効果】 コミュニティFMの電波を活用し、防災行政無線やJ-ALERTなどの緊急情報伝達装置と連動した防災ラジオが利用できるようFM鳥取放送局内の整備等を行い、併せて防災ラジオ端末の普及促進を行うことで、確実かつ安心安全な防災情報の発信力を向上させるもの。また、防災情報に加え新型コロナウイルス感染症への注意事項等も定期的に放送することで、感染症対策の向上に資する。 【事業の内容】 1 防災ラジオ販売委託業務 (補正前) 8,000台(補正後) 18,500台(補正要額) 87,434千円 2 防災ラジオ流通管理委託業務 管理対象物の増に伴う人件費等の増 (補正要額) 9,450千円 【市民ニーズの状況】 公募した市内の販売店(19業者26店舗)で販売しているが、初回入荷分及び6月補正分を超える問い合わせをいただいております。予約受付を行っている状況。自主防災組織へのアンケート結果や個人予約動向等から、年間販売台数を18,500台の見込みとした。 販売・予約台数：8,529台(8月5日現在) 【今後の取り組み】 新たな情報伝達手段を整備することで、災害に強いまちづくりを推進する。また、次年度以降の販売計画は今年度の販売実績を踏まえ策定する予定。			

危002	項目名	消防ポンプ車格納庫建設事業費	
予算書項目	消防施設等整備費	ページ	39
年度	R2	所 属 名 危機管理部 危機管理課	
会計名	一般会計		
款	消防費		
項	消防費		
目	消防施設費		
(単位：千円)			
補正前額	37,800		
要求額	4,500		
総務部長段階査定額	4,500	その他財源の内訳	
市長段階査定額	4,500	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	2,200
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	2,300	
	その他	2,200	
	一般財源	0	
	計	4,500	
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】消防企画係 0857-30-8032 【10次総の政策体系】4101 【事業の経過及び背景】 消防格納庫の中には、建設から50年近く経過して老朽化しているとともに、格納庫が狭小であるため、新型の消防ポンプ車が格納できない格納庫がある。また、団員が迅速に活動するための待機場所の設置が必要となっている。 この度、豊実分団消防格納庫の前面道路(県道)の改良工事(道路拡幅)に伴い、消防格納庫が支障となったことにより、移設(建替え)が必要になり、現在地建替えを方針とすることとなった。そのため、来年度(予定)に現格納庫を解体した後、現在地の敷地内に新築(建替え)施工することとなった。 【事業の目的及び効果】 市有地を有効活用したうえで有利な財源を活用し、現在地の敷地内に新築(建替え)施工することにより、持続的な消防力の確保が可能となる。 【事業の内容・実績】 1. 消防格納庫の前面道路(県道)の改良工事(道路拡幅)に伴う支障移設(建替え) 豊実分団消防格納庫解体新築実施設計 4,417千円 2. 実績・予定 平成27年度 鹿野第2分団格納庫建築(26年度の繰越)、用瀬社分団格納庫設計 平成28年度 用瀬社分団格納庫建築、明治分団格納庫設計 平成29年度 明治分団格納庫建築、福部分団格納庫設計 平成30年度 福部地区格納庫建築、青谷第3分団格納庫設計 令和元年度 青谷第3分団格納庫建築、用瀬大村分団格納庫設計 令和2年度 用瀬大村分団格納庫建築(予定) 【今後の取り組み】 建設年次等を勘案し、計画的に建替えを行う。 ※その他財源の諸収入は、移転補償費。			